




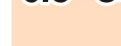
# 板倉町詳細版 ハザードマップ 〈個別図80〉

この地図は、想定最大規模降雨（1000年に一度）に伴う洪水により各河川が氾濫した場合の浸水が想定される区域や想定される浸水深を示しています（想定浸水水位21.3m）。

## 建物の色と避難方法の目安

-  在宅避難及び垂直避難不可  
(2階以上が浸水)
-  2階以上への垂直避難可能  
(1階床上浸水)
-  在宅避難可能  
(浸水区域外または1階床下浸水)

## 想定浸水深の目安

- 浸水深の色の見方
-  5m以上 2階の天井以上までつかる程度
  -  3~5m未満 1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度
  -  0.5~3m未満 1階の床から1階の天井までつかる程度
  -  0.5m未満 1階の床下までつかる程度

 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

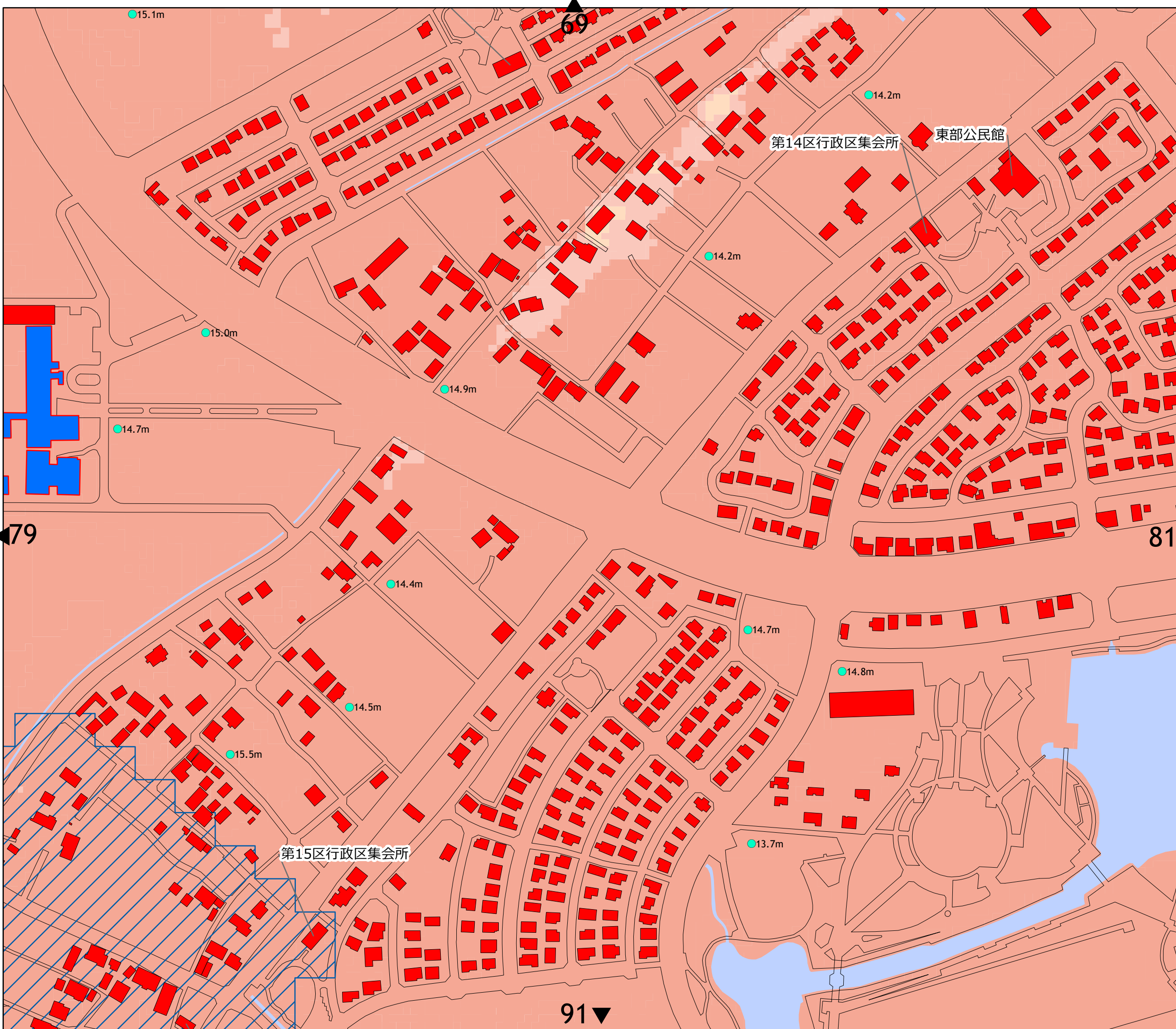
家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流が発生することが想定される区域。

-  洪水時緊急避難場所（屋内）
-  洪水時緊急避難場所（屋外）
-  洪水時緊急福祉避難場所
-  標高
-  行政界

命を守るため、  
早めに避難行動  
をとりましょう！

N  
▲ 1:2,500

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 214



※判定に用いた家屋情報は、現状と異なる場合があります。必ず避難方法判定フローで自宅や職場の浸水状況を確認してください。







# 板倉町詳細版 ハザードマップ 〈個別図91〉


この地図は、想定最大規模降雨（1000年に一度）に伴う洪水により各河川が氾濫した場合の浸水が想定される区域や想定される浸水深を示しています（想定浸水水位21.3m）。

## 建物の色と避難方法の目安

-  在宅避難及び垂直避難不可  
(2階以上が浸水)
-  2階以上への垂直避難可能  
(1階床上浸水)
-  在宅避難可能  
(浸水区域外または1階床下浸水)

## 想定浸水深の目安

- 浸水深の色の見方
-  5m以上 2階の天井以上までつかる程度
  -  3~5m未満 1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度
  -  0.5~3m未満 1階の床から1階の天井までつかる程度
  -  0.5m未満 1階の床下までつかる程度

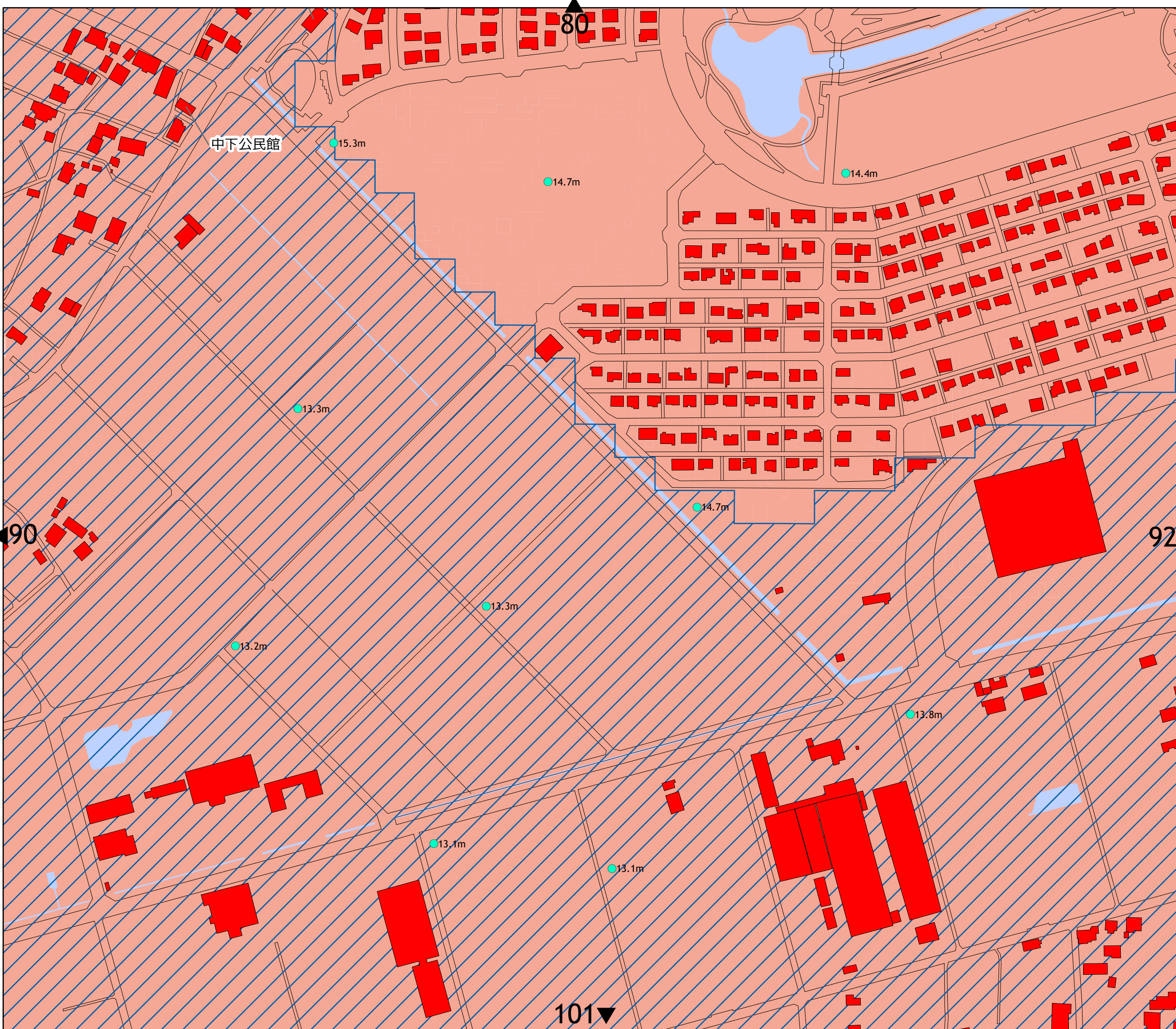
 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流が発生することが想定される区域。

-  洪水時緊急避難場所（屋内）
-  洪水時緊急避難場所（屋外）
-  洪水時緊急福祉避難場所
-  標高
-  行政界

命を守るため、  
早めに避難行動  
をとりましょう！

N  
▲ 1:2,500






※判定に用いた家屋情報は、現状と異なる場合があります。必ず避難方法判定フローで自宅や職場の浸水状況を確認してください。



# 板倉町詳細版 ハザードマップ 〈個別図92〉


この地図は、想定最大規模降雨（1000年に一度）に伴う洪水により各河川が氾濫した場合の浸水が想定される区域や想定される浸水深を示しています（想定浸水水位21.3m）。

## 建物の色と避難方法の目安

-  在宅避難及び垂直避難不可  
(2階以上が浸水)
-  2階以上への垂直避難可能  
(1階床上浸水)
-  在宅避難可能  
(浸水区域外または1階床下浸水)

## 想定浸水深の目安

- 浸水深の色の見方
- 5m以上** 2階の天井以上までつかる程度
  - 3~5m未満** 1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度
  - 0.5~3m未満** 1階の床から1階の天井までつかる程度
  - 0.5m未満** 1階の床下までつかる程度

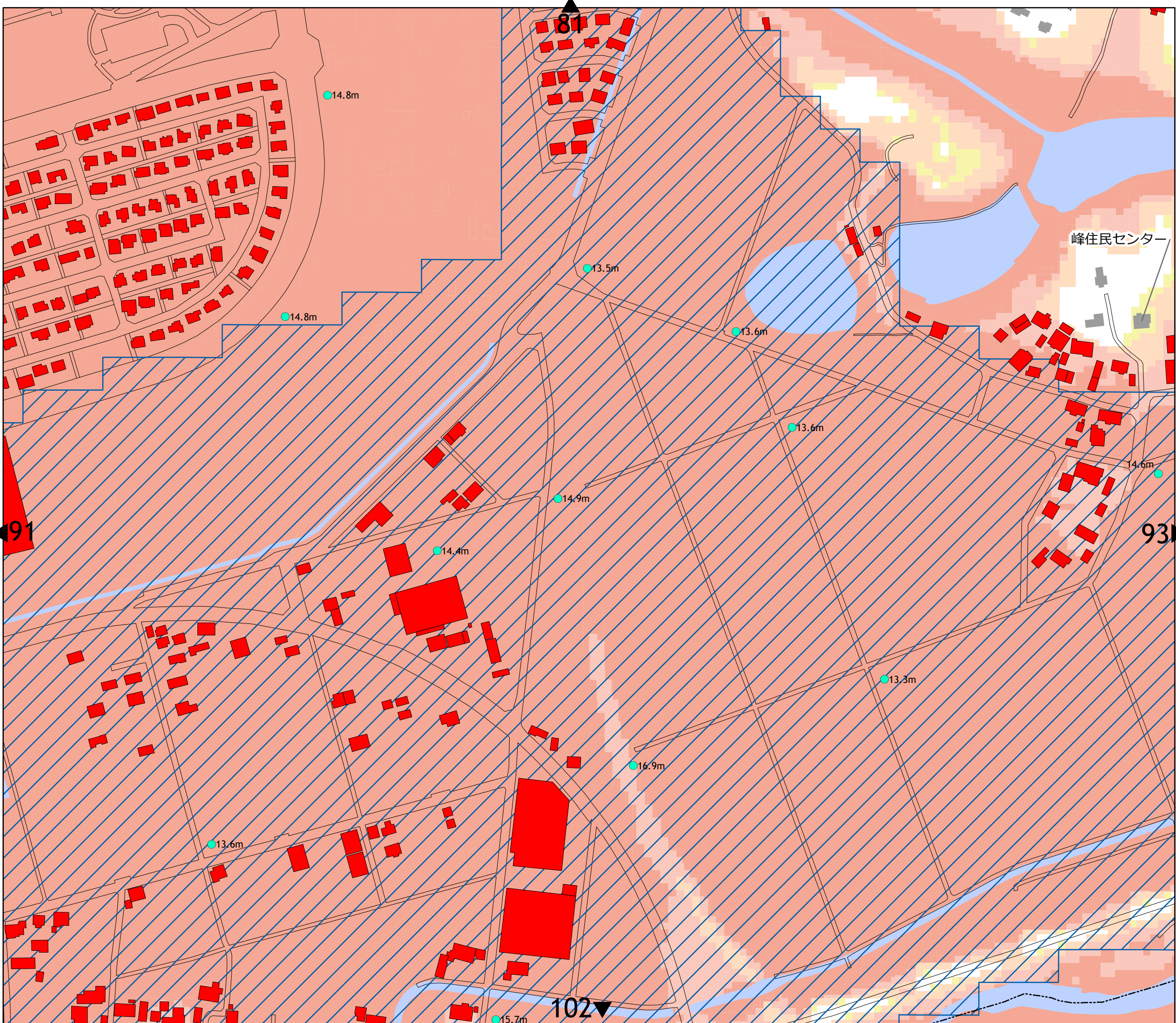
 家屋倒壊等氾濫想定区域  
(氾濫流)

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流が発生することが想定される区域。

-  洪水時緊急避難場所 (屋内)
-  洪水時緊急避難場所 (屋外)
-  洪水時緊急福祉避難場所
-  標高
-  行政界

命を守るため、  
早めに避難行動  
をとりましょう！

N  
▲ 1:2,500



※判定に用いた家屋情報は、現状と異なる場合があります。必ず避難方法判定フローで自宅や職場の浸水状況を確認してください。